

報道機関各位

熊本大学

熊本大学 知のフロンティア講座

「熊本県の防災・減災を考える」を開催

平成23年3月11日の東日本大震災、平成24年7月12日の九州北部豪雨、そして平成28年4月14日から続く熊本地震は、私たちに災害への備えの重要性を再認識させました。安全で安心な社会づくりのために、地域や学校などの様々な現場では実践的な防災・減災への取り組みが喫緊の課題となっています。

本講座では、熊本県における自然災害の特徴を説明するとともに、日頃から出来る防災・減災の取り組みや防災教育について一緒に考えます。

つきましては、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしく願いいたします。

記

【日時】平成28年10月1日～29日(土曜日開講 全5回) 10:00～

【場所】熊本大学黒髪南キャンパス

共用棟黒髪1 1F講義室(熊本市中央区黒髪2丁目39番1号)

【対象】一般の方どなたでも(参加費無料)

【お申し込み】下記連絡先まで電話もしくはメールにてお申し込みください

※当日参加も可能ですが、申込多数の場合は先着順となります

【主催】熊本大学 減災型社会システム実践研究教育センター

熊本大学 政策創造研究教育センター

熊本大学 地域創生推進機構(COC)

熊本地方気象台

※詳細については、別紙資料をご覧ください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

熊本大学政策創造研究教育センター

担当：酒井(さけい)

TEL：096-342-2044

Mail:seisoken@kumamoto-u.ac.jp

熊本大学知のフロンティア講座

熊本県の

防災・減災

を考える

受講
無料

10/1 sat. ▶ 10/29 sat.

熊本大学黒髪南キャンパス
共用棟黒髪1 1階 講義室

土曜日開講【全5回】

熊本市中央区黒髪2丁目39-1:「熊本大学前」バス停下車

定員 50名 当日参加も可能ですが
申込多数の場合は先着順となります

最新情報やお申し込みは
政策創造研究教育センター
Facebook をご確認ください



申込み
問合せ 熊本大学政策創造研究教育センター 担当: 酒井(さけい)
☎ 096(342)2044 mail: seisoken@kumamoto-u.ac.jp

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災、平成 24 年 7 月 12 日の九州北部豪雨、そして平成 28 年 4 月 14 日から続く熊本地震は、私たちに災害への備えの重要性を再認識させました。安全で安心な社会づくりのために、地域や学校などの様々な現場では実践的な防災・減災への取り組みが喫緊の課題となっています。本講座では、熊本県における自然災害の特徴を説明するとともに、日頃から出来る防災・減災の取り組みや防災教育について一緒に考えます。

Program

第1回

「身近に潜む自然災害」2016年10月1日(土)

10:00~10:10 趣旨説明 / 熊本大学 松田博貴

10:10~11:10 防災気象情報の利活用と

台風や集中豪雨から身を守る / 熊本地方気象台

11:30~12:30 地震・津波・火山災害から身を守る / 熊本地方気象台

第2回

2016年10月8日(土)
「熊本の自然災害~その時、何が起こったのか~」

10:00~11:00 「九州北部豪雨」に学ぶ / 熊本大学 北園芳人

11:20~12:20 「平成 28 年熊本地震」に学ぶ / 熊本大学 鳥井真之

第3回

「防災・減災に向けて・I」2016年10月15日(土)

10:00~11:00 自助・共助・公助の取り組み / 熊本大学 松田博貴

11:20~12:20 熊本県・市町村による防災・減災対策~公助の役割~/ 熊本大学 渡邊勇

第4回

「防災・減災に向けて・II」2016年10月22日(土)

10:00~11:00 自主防災組織とボランティア~自助・共助の重要性と課題~/ 熊本大学 安部美和

11:20~12:20 学校における防災・減災教育 / 熊本大学 竹内裕希子

第5回

ワークショップ
「経験したことのない大雨 その時どうする?」

10:00~11:30 ワークショップ開催 / 熊本地方気象台

11:50~12:50 討議

主催

IBESC 減災型社会システム実践研究教育センター
the Implementation Research and Education System Center for Reducing Disaster Risk

熊本大学
政策創造研究教育センター

文部科学省
地(知)の拠点

熊本地方気象台